



立志 鍛錬 協調

令和5年3月16日号

立三中

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

Time to Departure (巣立ちの時)

校長 今本 由美子

令和4年度も残りあとわずかとなりました。3年生はいよいよ明日、卒業式を迎えます。3年前、一斉臨時休業の最中に中学校に入学し、仲間との生活が始まったのは6月になってからでした。小学生から中学生へと大きく環境の変わる年に、先の見通しの立たない状況での中学校生活のスタート、きっと希望や期待よりも不安の方が大きかったことでしょう。それでも先輩たちの姿を見て、その後引き続きながら、中学生として、また三中生として、立派に成長してきました。今、3年生の皆さんの後には、皆さんをお手本に三中の伝統をしっかりと引き継ごうとしてくれている2年生、1年生がいます。

「The Fall of Freddie the Leaf (葉っぱのフレディ)」というお話の中に、次のようなセリフがあります。「Life lasts forever and we're part of it. (生命は永遠に続いていて、僕らはその一部なんだよ。)」1本の大きな木の何千、何万枚の葉っぱたち、毎年、毎年その木に生まれる葉っぱは違うけれど、その木は、ずっとそこに根を張っています。学校も大きな木のようなものなのかもしれません。毎年、新しい生徒が入学して、3年後に次のステージへと巣立っていきます。その年その年で新たな生徒や教職員が出会い、そこに集まったみんなで様々な経験を積み重ねながら、他のどの1年とも違う、その年だけの「1年間」を築いていきます。人は入れ替わっていくけれど、三中はこの場所で、みんなの拠り所として在り続けます。そして仲間と過ごした日々、ここで経験した様々なことは、この先も、ふとした時に皆の心を温かくしたり、ホッとさせてくれることでしょう。

さて、これまで教職員の異動については、年度が変わった4月1日に発表されていましたが、今年度、年度内の3月21日に発表されることとなりました。それに伴い三中では、24日に離任する教職員と生徒で、お別れのセレモニーを実施することとしました。別れはいつも寂しく、名残惜しいものですが、これまでの出会いに感謝をしながら、皆で残りの日々を大切に過ごしていきたいと思えます。

最後になりましたが、保護者、地域の皆さま、今年度も大変お世話になりました。おかげさまをもちまして、令和4年度を無事、締めくくることができそうです。今後も引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。



たちかわ市交流大使 山下洋輔さんの
出張ライブを楽しむ3年生